

リサイクル事業を通じて、「ごみが活きカエル！」



回収車



保管施設
受入・原料ピット 680.9m³



天井クレーン



細破碎 1軸破碎機
32トン/日 (16h・2基)

早川RPF工場の処理フロー

(再生固形燃料製造ライン、商標名:プラターン)



不要になったものを、可能な限り有効活用する

サーキュラーエコノミーとカーボンニュートラルを推進!

処理に困る廃棄物はタズミに相談していただければ、RPF化を中心に最適な処理方法を提案し、環境負荷低減のお手伝いをさせていただきます。

ゴミが活きかえる!

早川RPF工場は、平成11年5月に産業・一般廃棄物処分業の許可を取得しました。

製造している製品は、一般廃棄物・産業廃棄物を原料にした「再生固形燃料RPF (リサイクル・プレス・フューエル)」です。

具体的な原料は、木くず・紙くず・廃プラスチック類などで、販売先は、工場敷地内に火力発電施設やボイラー施設を所有する製紙メーカーなどです。

化石燃料に替えて RPF 1トンを使用すると、重油使用量が 700ℓ、CO₂ 排出量を2トン削減出来ます!



圧縮成形 スクリーン式押出成形機
32トン/日 (16h・2基)



再生固形燃料RPF
(リサイクル・プレス・フューエル)



販売先へ出荷

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS の取り組み



- 業務で使用している水の使用量を把握し、水漏れなど異常状態の監視を行い、無駄遣いを防ぐように継続監視します。
- 車両・重機の燃費を監視し、効率的な運搬・業務効率を目指します。またRPF生産時も電力使用量を監視し、状況に応じた消耗品の交換、時間当たりの生産能力の改善を目指します。

- 廃棄物の効率的な選別・資源化への知識を習得し、再資源化への取り扱いを増やしていきます。また自社で購入する備品もグリーン購入に対応した物を推奨します。
- 原料調達から使用されるまでのCO₂排出量の削減を目指し、RPF事業のCO₂排出量から事業由来のCO₂排出量を引いた削減量のRPFの出荷量増大を目指します。

事業内容

再生固形燃料(RPF、商品名:プラターン)の製造・販売業
産業廃棄物・一般廃棄物の中間処理業及び収集運搬業務
資源リサイクル業



Tazumi
http://www.tazumi.jp/



〒252-1123
神奈川県綾瀬市早川2647-35
TEL 0467-71-3792
FAX 0467-71-3793

株式会社 タズミ 早川RPF工場